

新基地建設反対名護共同センターニュース

両陣営の出発式

トイタ陣営(オール沖縄)

250人が参加。次呂久成崇選対本部長(県議)が「これまでの保革という構図ではなく市民のための石垣市を取り戻すたかいた」と訴えました。赤嶺衆院議員、高良・伊波両参院議員が参加。代表して伊波さんが「台湾有事という戦争が沖縄を覆おうとしている。トイタ候補の当選で石垣島を平和なまま発展させよう」訴えました。

元気で盛り上がった集会となりました。

中山陣営(自公推薦)

150人が参加。西銘衆院議員などあいさつ。中山候補は、言い訳に終始し実績、公約にはいっさいふれることはできませんでした。

市議補選は無投票に

市議補欠選挙は、定数2に対し立候補者は2名だったので無投票に。「オール沖縄」の大道夏代氏(53)の当選が確定しました。



市民の市民による市民のための市政をつくる 新しい石垣市へ

今こそ チェンジ・市政!

1票を争う
大接戦
大激戦

トイタ 芳行 必勝へ

トイタ候補の第一声から

独善的な市政、この市政が続けば石垣島が壊れてしまう、そう思う市民が大同団結し、この選挙体制をつくっていただきました。

ここに来るまで、本当に言葉では言い表せないほどの、みなさまのご尽力があったこと、そして私たちは歴史に残る市長選をこれからたたかおうとしていること、必ずやみなさまの思いを実現し、新しい市政をつくってまいります。

石垣市長選が20日、告示されました。トイタ候補の出発式には雨の中、2500人余が参加。
一部の経済界、組織、市民不在の声しか聞かない独善的な市政を終わらせるのか、市民の市民による市民のための市政をつくるのか、それが問われる選挙です。
トイタ候補の街頭宣伝では高校生からの手ぶりも多く、支持の輪も日毎に大きく広がっています。島外からも電話でトイタの支持をお願いする人も増えています。最後まで頑張り抜けば勝利できる選挙です。

陸自配備是非を問う住民投票を実施する市政へ
全県・全国から石垣市の友人・知人にトイタ候補への支持をスマホ、ライン、メールなどで1人でも多く訴えましょう!

違法工事は直ちに中止を！抗議行動を再開

写真下は、第3ゲート前で防衛局の工事車両の進入に抗議する県統一連・瀬長和男事務局長(中央の椅子)ら(21日)



沖縄県はまん延防止等重点措置を20日で解除しました。これを受け「オール沖縄会議」は21日からキャンプ・シュワブなどでの抗議活動を再開しました。ゲート前には21日、約30人の県民が感染症対策をとりながら座り込み「違法工事は直ちに中止せよ」と抗議の声を上げました(写真上)。県民は第3ゲートへも移動し、美謝川切り替え工事のための工事車両進入に抗議しました。なお、「美謝川の切り替え問題学習会」をゲート前テント村で行います。2月28日(月)13時30分～講師・北上田毅氏(平和市民連)。

第3ゲート前の抗議緊迫!
美謝川の切り替え工事着工で